

贵州省地方志编纂委员会办公室 辑

贵州历代方志集成

〔民国〕续遵义府志
〔民国〕遵义新志



中国文史出版社

贵州省地方志编纂委员会办公室 辑

贵州历代方志集成

〔民国〕续遵义府志
〔民国〕遵义新志

中国文史出版社



总目 录

贵州省

第一册

【弘治】贵州图经新志	 (一)
【嘉靖】贵州通志	 (一九三)
【宣统】贵州地理志	 (五一)

第二册

【万历】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第三册

【乾隆】黔南识略	 (一)
【乾隆】贵州通志	 (二〇五)

第四册

【乾隆】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第五册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第六册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第七册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第八册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第九册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第十册

【民国】贵州通志	 (一)
【民国】今日之贵州	 (三九九)

第十一册

【万历】黔记	 (一)
--------	-----------

第十二册

【万历】黔记	 (一)
【康熙】黔书	 (四三五)
【嘉庆】续黔书	 (五一九)
【嘉庆】黔记	 (五八九)
【嘉庆】黔史	 (六三三)

【同治】苗疆闻见录 (六五七)

贵阳府（今属贵阳市）

第十三册

【道光】贵阳府志 (一)

第十四册

【道光】贵阳府志 (一)

第十五册

【道光】贵阳府志 (一)

【民国】开阳县志稿 (二四七)

【民国】修文县志稿 (四九五)

第十六册

【民国】息烽县志 (一)

【民国】清镇县志稿 (四七五)

遵义府（今属遵义市）

第十七册

【道光】遵义府志 (一)

第十八册

【道光】遵义府志 (一)

第十九册

【民国】续遵义府志 (一)

第二十册

【民国】续遵义府志 (一)

第二十一册

【民国】续遵义府志 (一)

【民国】遵义新志 (二九二)

第二十二册

【嘉庆】正安州志 (一)

【咸丰】正安新志 (一二一)

【光绪】续修正安州志 (二五三)

第二十三册

【嘉庆】仁怀县草志 (一)

【道光】仁怀直隶厅志 (四五)

【光绪】增修仁怀厅志 (四四三)

第二十四册

【光绪】增修仁怀厅志 (一)

【光绪】桐梓县志 (一三三)

第二十五册

【民国】桐梓县志 (一)

第二十六册

【民国】桐梓县概况 (一)

【乾隆】绥阳县志 (五九)

【民国】绥阳县志 (九七)

【光绪】余庆县志 (三二五)

【民国】余庆县志 (三七九)

【康熙】湄潭县志 (四八一)

第二十七册

【光绪】湄潭县志 (一)

【民国】务川县备志 (二二七)

【光绪】都濡备乘 (二六九)

【康熙】龙泉县志草 (三一)

水城厅 (今属六盘水市)

【光绪】水城厅采访册 (三二九)

【民国】郎岱县访稿 (四七一)

【民国】水城县志草稿 (五五三)

安顺府 (今属安顺市)

【咸丰】安顺府志 (一)

第二十八册

第二十九册

【咸丰】安顺府志 (一)

【民国】续修安顺府志 (二七五)

第三十册

【民国】续修安顺府志 (一)

【道光】永宁州志 (二七七)

【咸丰】永宁州志补遗 (四六九)

第三十一册

【光绪】镇宁州志 (一)

【民国】镇宁县志 (八七)

【道光】安平县志 (四四一)

第三十二册

【道光】安平县志 (一)

【民国】平坝县志 (一六一)

【民国】关岭县志访册 (四五七)

【民国】紫云县社会调查 (五一七)

【民国】羊场分县访册 (五七三)

大定府 (今属毕节市)

第三十三册

【道光】大定府志 (一)

第三十四册

【道光】大定府志		(一)
【民国】大定县志		(二一九)

第三十五册

【民国】大定县志		(一)
【乾隆】黔西州志		(二四五)
【嘉庆】黔西州志		(三五三)
【光绪】黔西州续志		(五〇七)

第三十六册

【民国】黔西州志		(一)
【乾隆】平远州志		(九五)
【道光】平远州志		(一九一)
【民国】威宁县志		(三三一)

第三十七册

【乾隆】毕节县志		(一)
【同治】毕节县志稿		(一七一)
【光绪】毕节县志		(四六九)

铜仁府（今属铜仁市）

第三十八册

【嘉靖】思南府志		(一)
【道光】思南府续志		(八七)

第三十九册

【道光】铜仁府志		(一)
【民国】思南县志稿		(二六五)
【乾隆】石阡府志		(三七九)

第四十册

【乾隆】玉屏县志		(一)
【民国】玉屏县概况		(二三七)
【民国】石阡县志		(二六五)

第四十一册

【民国】玉屏县志资料		(一)
【康熙】平溪卫志书		(二九)
【道光】松桃厅志		(六一)
【民国】沿河县志		(三一七)
【民国】印江县志		(四五七)
【民国】德江县志		(四七九)
【民国】江口县志略		(五三九)

兴仁府（今属黔西南州）

第四十二册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

第四十三册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

【光绪】兴义府志续编	·····	(三七九)
【民国】兴义县志	·····	(四〇五)

第四十四册

【民国】兴义县志	·····	(一)
【民国】兴仁县志	·····	(三五三)

第四十五册

【民国】兴仁县志	·····	(一)
【民国】兴仁县补志	·····	(一三九)
【民国】兴仁县采访录	·····	(三五七)
【嘉靖】普安州志	·····	(三九七)

第四十六册

【乾隆】普安州志	·····	(一)
【光绪】普安直隶厅志	·····	(一五七)
【民国】晴隆县志	·····	(四五九)
【民国】册亨县乡土志略	·····	(五一七)
【乾隆】南笼府志	·····	(五五五)

第四十七册

【民国】南笼续志	·····	(一)
【民国】普安县志	·····	(一二五)
【雍正】安南县志	·····	(四一五)
【光绪】安南县乡土志	·····	(五四一)

【民国】安南县志	·····	(五六五)
----------	-------	-------

镇远、黎平府（今属黔东南州）

第四十八册

【民国】思县志稿	·····	(一)
【光绪】黎平府志	·····	(七九)

第四十九册

【光绪】黎平府志	·····	(一)
【康熙】清浪卫志略	·····	(四八九)

第五十册

【嘉庆】黄平州志	·····	(一)
【民国】黄平县志	·····	(四三七)

第五十一册

【民国】黄平县志	·····	(一)
----------	-------	-----

第五十二册

【乾隆】镇远府志	·····	(一)
【嘉庆】古州杂记	·····	(二六三)
【光绪】古州厅志	·····	(二七三)

第五十三册

【康熙】思州府志	·····	(一)
----------	-------	-----

【康熙】天柱县志 (一四九)

【光绪】续修天柱县志 (二三七)

【民国】天柱县五区团防志 (四二九)

【民国】施秉县志 (四五三)

【民国】榕江县乡土教材 (五二九)

第五十四册

【民国】剑河县志 (一)

【民国】麻江县志 (七一)

【民国】岑巩县志 (三二三)

第五十五册

【民国】台拱县文献纪要 (一)

【乾隆】清江志 (四一)

【乾隆】开泰县志 (二〇三)

【民国】八寨县志稿 (三二一)

【民国】炉山物产志稿 (四八三)

都匀府 (今属黔南州)

第五十六册

【民国】都匀府亲辖道里册 (一)

【民国】都匀县志稿 (三七)

【康熙】定番州志 (二八七)

【民国】三合县志略 (三七七)

第五十七册

【乾隆】独山州志 (一)

【民国】独山县志 (二八五)

【民国】独山县志文征志 (六一三)

第五十八册

【民国】定番县乡土教材调查报告 (一)

【咸丰】荔波县志稿 (一九一)

【光绪】荔波县志 (二一九)

【民国】荔波县志资料稿 (三六一)

第五十九册

【光绪】平越直隶州志 (一)

【民国】贵定县志稿 (六〇一)

第六十册

【民国】瓮安县志 (一)

【嘉庆】桑梓述闻 (三四九)

【民国】惠水县乡土教材调查报告 (四九一)

【道光】广顺州志 (五一七)

民国

续遵义府志

民国·周恭寿 修 赵恺 杨恩元 纂
民国二十五年刻本 三十五卷

民国《续遵义府志》周恭寿等修，杨兆麟、赵恺、杨恩元先后主纂。仿《遵义府志》体例。全志三十五卷，计九十余万字。记述时限上起道光二十二年（1842）下迄宣统三年（1911）。纲目体结构，主要记述该时限内遵义府发生的政治、军事、经济、社会、文化等的发展历史，民国三年（1914）始修，民国二十五年（1936）刻本，民国二十六年（1937）刊行。

目 录

卷二十八 年纪三 (五)

同治四年至宣统三年 (五)

卷二十九 矿产 (三〇)

卷三十 宗教 (三四)

天主教 (三五)

耶苏教 (五五)

卷三十一 法制 (五七)

地方自治 (五七)

选举议员 (五九)

警察 (六二)

邮政 (六二)

卷三十二上 艺文志 (六三)

目录上 (六三)

卷三十二中 艺文志 (八八)

目录中 (八八)

卷三十二下 艺文志 (一一二)

目录下 (一一二)

卷三十三上 艺文一 (一四〇)

制勅 (一四〇)

疏 (一五二)

考 (一五五)

论 (一五九)

议 (一六一)

辩 (一六四)

序 (一六六)

记 (一七〇)

书 (一七四)

书后 (一七七)

卷三十三下 艺文二 (一七九)

碑记 (一七九)

传 (一八五)

铭 (一九四)

颂 (一九七)

赋 (一九八)

祭文 (二〇七)

卷三十四 艺文三 (二一三)

诗 (二一三)

卷三十五 杂记 (二五二)

供億搜掘窖藏繼乃搶割農產禾麥未熟而田疇已空廬舍則焚燬無存草根樹皮掘食殆盡流亡死喪不知幾何人矣初遣千人援赤水里之賊至高尖口為川軍敗回至劉嶽昭大軍入遵又選精銳三千援綏陽至四面山為遵義團甲所殲得脫者不過十數人至此賊勢大衰譚賊窮威潛率親信數十人至劉軍大營求降忠義寨主楊子香築寨抗賊歷年積眾與抗誓不從賊至是偵知譚賊將過其境選勇丁伏於險要突出執而殺之餘賊驚潰積年巨寇始告削平

續遵義府志卷二十八

年紀三 自同治四年乙丑起至宣統三年辛亥止

同治四年七月劉名貴掠綏陽鳳山寨李家福敗之王廷英宋玉山簡圓淵等掠遵義火石坎圍眾及川軍何行保敗之

時綏陽賊北恃天台山為犄角南恃鄭場清水坪老號為應援川軍掃蕩而前猝難圍城曾軍中大疫死頗眾固壘與賊相持劉名貴等乘間出畧東南鳳山寨李家福遣軍敗之 遵義知府馮澍防賊襲城樹鹿角柵於郡城城垣南鄉火石坎寨距城二十餘里

為入城要道賊欲下之以使圍城圍月餘不去寨首張純上書求援澍初遣永安里團練偕官軍進湯家壩至沙田桐麻堰三木壩與賊戰陣亡練目李超等澍飛檄鳳梧村長生寨寨首張兆蒲源清大義寨寨首余登明等率團援助前後夾攻初三日破賊壘三斃賊多名胡花花鎗宋玉山簡圓淵諸賊首復集大股來助澍乞劉嶽昭援嶽昭檄何行保馳赴澍添募練勇三百以署協標守備蔣洪順率練助攻仍檄長生大義兩寨團練會援自二十三日戰至二十八日兵賊互有損傷無勝負澍密商行保暗遣團首胡國

銘孫文光等潛至賊營放火燒賊棚賊不及救亦放火焚寨外小屯延燒民房數百戶兵練應時至寨主張純亦率練殺出陣斬教匪首宋三元等宋玉山等奔龍圖山餘賊遁縣西母氏壘余氏溝亦有竄縣北海龍壩陸家坳高平觀音閣掠民穀者而寨圍遂解後月餘宋玉山等糾眾復來圍外援不至亦偽從賊焉

八月賊圍遵義縣北毛家寨何行保援之

寨在北永安里毛家山南至城六十里同治二年歲貢劉世安倡集至是賊遽攻之居民三百餘人忽促入寨守禦度力不敵寨首劉世安權詞緩賊一面飛

續遵義府志 卷二十八 年紀三

二

乞川軍忠字營管帶何行保來援行保方由火石坎回適在遵境回軍援之賊乃解圍去

九月劉嶽昭督兵攻拔天台山賊壘進逼綏陽城川軍副將劉鶴齡援黔入桐梓攻鐮尖山

綏陽城賊恃天台險要用力死守以為屏蔽屢攻不下黃白各號乘勢夜掠諸寨圍阻錚道並犯嶽昭黃泥橋營不得逞吳元彪乞援於何德勝安雷鉢諸賊雷鉢旋至茅坡與元彪合掠盤安寨嶽昭乞川督增軍川督復遣羅安營總兵成耀星副將潘長青等赴援而遵義諸賊亦乘勢攻東南反正各寨黔西大定

潰賊亦趨遵義西鄉嶽昭難於兼顧念非攻拔天台以下綏城不能大振軍威十六日親往督戰斬臨陣退縮守備詹志道廖德懷等軍心齊奮斃賊目數十賊匪數千天台立拔同時瀘潭平定營即劉名貴老巢亦為龍泉山宗烈圍營攻下川軍到綏數月以來員弁戰歿病故數十人嶽昭弟嶽昀亦積勞卒兵勇死亡者亦二千餘乃派員至蜀招募補充天台既下綏陽城勢已孤乃進軍圍之駐川楚軍副將劉鶴齡率楚勇二千繼劉嶽昭由綦江出趕水進至松坎桐梓縣叛圍過難遂勒之初桐梓屬夜郎等五里民最悍自

續遵義府志 卷二十八 年紀三

三

楊鳳亂後強團往往借事抗官尤以夜里太和團王正儒正仲盧里張開梓為最自王正儒被誅後前見正仲繼之與會匪李炳南令狐春庭張三鳳等陰相結各據有屯寨正仲以鐮尖山險要據為巢穴陰附朱明月吳元彪等牽制川軍後路鶴齡入黔境進兵逼之地方人士初議毀鐮尖塔趙運怡督團務爭存之繼運怡後者如穆復霄及令狐春庭皆與賊通氣十月劉鶴齡擊滅會匪張三鳳等仁懷縣號匪石洪明等掠黔邊桐梓始建教堂

會匪張三鳳據太平橋為鐮尖山應援劉鶴齡會同綦江團眾擒之於太平橋乃合圍鐮尖山並擊破附

近白楊關金華石諸寨攻累日鐸尖山不下陣亡總兵劉洛望千總楊洪貴龍會雲等鶴齡知鐸尖尚恃令孤春庭等援救檄蔡江團首舉人楊材選桐梓縣婁里團首李聯輝楊秀江等合擊附近鐸尖通賊各壘寨至下月初材選等擒令孤春庭父子送鶴齡營誅之 白號石洪明等據仁懷縣數出踰河至四川永寧縣邊境掠古蘭司防邊管帶許蔭棠屢擊不勝趙仁懷廳掠乘龍山仁懷同知周秉正率練至土城猿猴防禦總兵李有恒會蔭棠邀賊落用距土城六十里亦不利千野紀畧時提督周達武領川軍防黔邊賊已由仁

續遵義府志

卷二十八 年紀三

四

懷廳出天橋池至官渡場達武慮其竄至合江遣軍進擊賊不支退大錫廠達武軍阻水以槍礮遙擊應槍而斃者數百賊悉棄所掠財物遁去 法國司鐸沙布爾建堂於桐梓縣城南正街先是同治二年沙布爾至桐勸人民入天主教從者漸多至是始建教堂兼置田產

十一月初四夜黃號賊宋玉山等以苗匪夜襲入郡城圍民巷戰禦之賊旋退去城危復安劉嶽昭大破各路援綏陽賊黨賊攻遵義縣南各寨

宋玉山自白巖溝以精悍苗教匪數十人襲城自率

大隊約見火光繼進時楊子和陷賊中已密洩於城而城內兵練多分調各鄉守陣者皆鄉民不以為意三更時賊自府署後玉屏山梯入守者驚覺賊已畢登軍功余文遇賊大呼賊殺之分股趨西南為守礮臺營兵楊有發王樹勳何正謨等開礮轟擊賊卻悉趨城北守門兵逃去奸民陳篋匠等開北門城外私伺賊二十餘人亦擁入於是拱安關內三百餘戶男女避出有投河自盡者賊入城即燒房幸未多沿燬城防局增生馮謀急往城北督團適遇賊被害隨行局丁亦受傷賊至營門口署守備蔣洪順邀於巷開

續遵義府志

卷二十八 年紀三

五

礮堵禦藥潤未然退走火神廟巷賊跟追燒紫荊花民房亦未多焚遂至楊柳街外委鄧元章放箭中一賊賊稍卻洪順迴禦復不支退經歷司巷口適劉嶽昭達至新城採辦軍需親兵十餘人聞警應援與賊巷戰鎗斃一賊兵亦傷一人賊退回營門口先是賊分股由營門口大街至觀音堂煤市街外委李時龍截之不勝被殺放火燒房會天雨火燄不作遂橫趨縣門口圍民閉柵欄不得入返走琵琶橋城防圍首督守柵圍丁開礮賊目負傷亦奔回營門口時街民之能戰者持械呼逐之而洪順與嶽昭親兵乘勢截

殺餘賊乃退出北門而去洪順督兵閉門郭外拱安關圍首席生譚杰慮賊復入亦閉關是役城無備後賊以未見火光亦竟不至天明城防局紳劉際雲調孫文光團練至不數時何行保軍亦由四面山馳至明日川軍成耀星潘長青率隊至督辦軍務前署遵義知府莫超宗亦由陸家坳率軍回城人心始定方賊之襲入也代遵義知府即署縣馮澍署協副將賀朝綱莫為計趨城南樓相向泣已而署縣趨城東適閤城居民多走東門圖出避守門把總陳雲龍嚴防有扭鎖者輒手刃之民不得其門而出多縋城逃者

續遵義府志

卷二十八 年記三

六

惟老弱男婦幼穉子女塞途自關帝廟至城門幾無隙縫以是擠踏傷斃者亦百餘人劉嶽昭聞訊因稟張亮基言莫超宗辦事有名無實大不可恃當喫緊之際反將練勇撤散於城守漫無布置嶽昭所調糧星長青及行保等均為遵義官民遮留致嶽昭有增兵之名無攻勦之用此次援軍每月由川籌給軍火口糧等銀六萬有餘款不為不巨無如時艱賊狡兵力畧單不免智勇俱困惟請增援遵義而亮基以省垣惟趙德光一軍為數不滿萬人餘皆零星小隊防勦猶恐不敷難以分援奏請以嶽昭節制遵義文武

各官遵屬軍務悉歸嶽昭一手經理駱秉章亦自川致書張亮基詰責馮澍以老城之失賊不過三四百人足見平日毫無防範並指澍借事苛派民心不固亮基乃撤澍任並奏道員莫超宗在遵督辦年餘所部練勇無異於賊任用非人為所鉗制致滋民怨繼借故外出益長賊風所紮北興寨民不堪其擾於是超宗亦褫職去賊首王廷英以宋玉山襲郡城入而旋出深咎馬坎關降眾不協助疑楊子和有異自率隊至馬坎關遣子和為先鋒復襲城初六日夜廷英適病子和負梯上城故撞鹿角柵驚眾城上開鎗投

續遵義府志

卷二十八 年記三

七

石不得登而退並自傷額角以堅賊信吳元彪被圍急寫血書藏竹杖遣人持往各賊營乞援約朱明月向宗慶出綏陽東王廷英出遵義東南宋玉山劉崑山出遵義東北至二十二三兩日會齊勝則入不勝則趨桐梓合據新棧牽制川軍書為嶽昭軍報獲剖竹悉賊約仍藏竹遞賊營遣軍至綏陽蠻王洞防賊來路藍山虎果約朱明月及粵匪紅號李福猷餘黨至被嶽昭軍擊敗斬偽侯范春陽及偽元帥都督二十餘賊嶽昭飛檄成耀星潘長青二十一日由遵義進軍圍澤口以玉屏寨胡金堂團練作鄉導金堂

續遵義府志

卷二十八 年紀三

八

甫至土地垵王廷英率胡花鎗等賊適至與戰不支金堂負重創官軍繼進大敗之追及洪江斬廷英弟得意斃二千餘賊屍塞河水水為盡亦廷英負創走老蒲場奔尚稽場是日朱明月等亦走上坪嶽昭軍遇諸途與戰陣斬向宗慶追奔二十餘里賊尸徧野劉崑山圍遵義北之全義寨嶽昭遣何行保赴援檄各軍由高規進飛知成耀星潘長青由團澤口拔軍會攻並檄觀音閣營哨急扼五后水去路崑山初據四面山場外小橋退據大橋各軍以礮轟斃三百餘賊賊又退入行保原屯舊營死守不出右翼軍副將劉正廷與行保攻其後耀星長青攻其前各軍距踴齊入生擒崑山餘賊盡殲賊中精銳死亡畧盡崑山願說降遵西各賊嶽昭許之釋還 遵義南鳳格村長生寨為舉人張廷椿建築廷椿殁以其姪洸與蒲源清主寨事宋玉山簡圓淵集大股逼降火石寨移圍長生越四十日求援無應源清不得已走降豬場老賊營賊約不犯移攻大義寨寨首余登朝善守禦久不下賊說之降登朝答以他寨降則降陽六臺寨與大義寨相距五里賊急攻之寨首吳占斃不支許降賊以登朝有約在先責大義寨速降會寨水涸

續遵義府志

卷二十八 年紀三

九

從之及水足竟負約拒賊三寨皆獲保全十二月賊毀松坎釐局劉鶴齡擊走之劉嶽昭復破綏陽援賊從賊各寨皆反正宋玉山等乞降 鐸尖山團匪王正伸李炳南等結油羅口梯巖趙仙楊老公等匪襲沙灣劉鶴齡糧臺不逞順道毀松坎釐局委員候補同知直隸州胡濟謬大塘州判宣昭書手覃仁山皆遇害鶴齡遣軍擊走之益逼鐸尖山礮裂其外牆遊擊譚見喜中礮歿 吳元彪乞教匪首劉義順援義順以偽軍師田書文率千餘賊會朱明月往劉名貴率二千餘賊突圍出據上坪將趨旺草場襲東北官軍後嶽昭遣軍往攻距上坪四里賊分途迎戰各營旋分旋合眩亂賊陣斬書文與名貴弟科弟暨何易兩偽將軍等上坪賊悉眾助戰賊敗各軍躍壘入殺賊殆盡名貴負創遁至是而綏陽南路被脅杉木壩母豬孔官田壩飛雲菴仙人洞方家洞袁家洞大消坑水緯溝唐寶石各寨洞遠而涓潭附從唐振興與何安諸教匪遣偽將軍華羨唐呈繳偽扎印先後乞降嶽昭派員至遵義招撫楊子和單騎入遵義縣城謁馮澍又至綏陽謁嶽昭面陳當日遭亂實情願殺賊自効嶽昭諭以暫勿輕動俟大軍